

第30回 原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 1995年8月22日(火) 10:00～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

- (1) 新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について
- (2) その他

4. 審議事項

- (1) 東濃地科学センター超深地層研究所(仮称)の計画について

標記の件について、動力炉・核燃料開発事業団から、計画の目的、施設の規模、運営方針等について説明があった。

- (2) 議事録の確認

第27回原子力委員会臨時会議議事録(案)及び28回原子力委員会定例会議議事録(案)が了承された。

第29回原子力委員会臨時会議議事録(案)について、6. 審議事項

(2)の地元意見聴取に関する地元の名称表現を「青森県、青森県大間町、福井県及び福井県敦賀市」と明確化した上で、了承された。

- (3) 原子力委員会参与の任命について

標記の件について、事務局から説明がなされ、了承された。

- (4) 原子力委員会専門委員の変更について

標記の件について、事務局から説明がなされ、了承された。

- (5) 新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について

標記の件について、事務局から説明がなされ、

・ATR実証炉建設計画とは別に、「ふげん」運転の必要性について再認識した上で、「ふげん」の将来計画についてのケーススタディーが重要である。

・大型技術開発の実用化を進めるに当たっては、研究開発主体と建設・運転主体とが一体となって進めることが重要であり、今後、その体制を整備する必要がある。

等の意見があり、引き続き審議することとした。